

臨床看護シリーズ 文部科学省選定

ビデオ

看護技術を科学する

—寝たきりを防ぐ—

③ 背面開放端座位の原理と効果 (28分)

監修 健和会臨床看護学研究所長
川島みどり

聖路加看護大学学部長

菱沼典子

—寝たきりを防ぐ—

④ 座っていきいき在宅ケア (23分)

<指導>

健和会臨床看護学研究所

主任研究員 陣田泰子

健和会 みさと健和病院

教育婦長 平松則子

<対象>

○看護学校・看護大学・病院

・訪問看護ステーション

・在宅介護支援センター

・ホームヘルパー機関

・特別養護老人ホーム

・介護実習普及センター

・老健施設 (他)

<価格>

VHS 各巻¥30,000

(消費税別)



製作にあたって

お年寄りの寝たきりによる廃用症候群は、心身にさまざまな影響をもたらします。何よりも、意欲が低下したり見当識レベルも鈍くなって、人間として生きていく上での基本的な食事摂取や、排泄さえも思うようにはかなくなります。ご本人の苦痛はもとより介護する人の負担も増えてきます。こうした問題を根本的に解決するには、寝かせきりにせず起きて座って頂くことです。麻痺があっても意識レベルが少々悪くても、背中をベッドに着けたままのギャッジアップではなく、直立姿勢に近い「背面開放端座位」が、お年寄りの表情を生き生きさせます。その根拠を科学的にわかりやすく解説し、その効果を臨床で、在宅で実践し検証している様子を見れば、寝かせきりにしない、寝たきりを起こすケアの醍醐味を実感していただけるのではないのでしょうか。1人でも多くの看護・介護者そして家族の方々に理解していただければ幸いです。(川島みどり)

企画・制作

東京シネ・ビデオ株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-8

TEL (03) 3242-3151

FAX (03) 3242-3182

科学的な視点で臨床看護技術を考察する 新しい看護シリーズ

—寝たきりを防ぐ—

3 背面開放端座位の原理と効果

主な内容

- 背面開放端座位とは
(川島先生の話)
 - ・背もたれなしで座る
 - ・直立に近い座位の姿勢
- 人の成長と脳の発達 (アニメ)
 - ・赤ちゃんが立って歩くまで
 - ・脳の断面図
 - ・抗重力筋の働き
 - ・脳幹網様体 (意識覚醒の中核)
- 端座位保持具の考案
(川島先生の話)
 - ・保持具の構造
 - ・正しい使い方
 - 介護者二人の場合
 - 〳 一人の場合
 - はじめて起こす場合
 - ・禁忌症
- 端座位の効果
 - ・意識が覚醒する
 - ・残された機能を生かす
 - ・脳波測定による検証
(工藤先生の話)
 - ・端座位の利点 (臨床データ)
 - ・言葉がけなど看護の心が大切

—寝たきりを防ぐ—

4 座っていきいき 在宅ケア

主な内容

- 「背面開放端座位保持具」の積極的な活用
 - ・ある脳神経外科医院で
(森本先生の話)
 - ・寝たきりにさせないためにまず座らせる
 - ・様々な刺激が脳を活性化する
- 保持具の様々な場での利用
 - ・施設における利用の実際
 - ・デイケアセンターでの利用
 - ・在宅における利用の実際
 - ・訪問看護サービスでの利用
 - ・在宅介護サービスでの利用
 - ・医療と福祉の連携ケアシステム
 - ・介護する家族の負担軽減
 - ・端座位保持具は介護を支える大切な道具
- 座らせる事は自立への動機づけとなる
(森本先生の話)
 - ・座ったら、車椅子に乗る、外に出る、
絶えず体を動かすことが大切
 - ・海水浴を楽しむ在宅老人たち
 - ・在宅ケアは医療福祉などの多くの人々に支えられている
 - ・言葉がけやスキンシップの重要性

< 協 力 >

健和会臨床看護学研究所

医療法人 社団もりもと

森本外科 脳神経外科医院

院 長 森 本 益 雄

看護婦長 金 田 弘 子

女子栄養大学

教 授 工 藤 一 彦

エムジェイジャパン株式会社

株式会社 エフ・アイ・デイ

< 製作スタッフ >

製 作 横 川 元 彦

プロデューサー 佐 藤 有 弘

脚本演出 富 永 一

撮 影 川 尾 俊 昭

撮 影 進 行 飯 田 賢 一

音 楽 矢 込 弘 明

解 説 武 田 広

津 野 まさい